

中田かわら版 5 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

「闇バイト」に騙されない判断力を

ゲーム「レイの失踪」に小中学生が挑戦、情報リテラシー講座開く

ゲームに挑戦して「闇バイト」に騙されないメディア情報リテラシーを学ぶ講座が 3 月 20 日に中田町会館で開かれ、小中学生が親子で参加しました。各メディアでも取り上げられ話題となっている闇バイト対策ゲーム「レイの失踪」のプログラムを実際に体験する内容で、「中田編集局」（中田地区経営委員会のプロジェクト）が企画しました。

「レイの失踪」は、動画配信者レイが失踪するところからストーリーは始まります。参加者はレイの仲間の立場で、彼女の SNS での投稿やメッセージのやり取りを分析し、彼女の身に起こったことを探っていく中で闇バイトに陥る危険性や恐怖を疑似体験できる教育プログラムです。



三石さんの話しを聞く参加者

自治会の主催は全国で初！中田中学校 PTA が共催

今回は中田中学校 PTA との共催で、アルバイトを始める前に闇バイトに取り込まれないスキルを身につけてもらおうと、立案しました。全国各地で学校の授業として行われてはいますが、地域で自治会町内会が開催するのは初めてです。同プログラムを開発した（株）クラスルームアドベンチャーの竹ノ内尊行さんと三石葵さんにお越しいただき、謎解きのサポートを受けながら親子で楽しく深く学ぶ機会を得ることができました。

（株）クラスルームアドベンチャーは大学生が立ち上げたスタートアップ企業。若い方たちが熱意と信念をもって情報リテラシーの重要性を説く姿に感銘を受けるとともに、この体験が中田の子ども達の糧となり、これからの情報化社会の中、正しい情報をつかみ取るスキルを身につけていくきっかけになったと思います。

参加者からは「難しかったけど、非常に面白かった」「闇バイトの危険性を実感できた」「とても怖かったので、闇バイトに巻き込まれないように気を付けたい」「勉強になったので、是非、学校の授業に取り入れてほしい」などの感想が寄せられ、好評でした。

SNS や Web サイトは便利なものですが、虚実混交のため、利用者側が受け取る情報を精査する必要があります。現代社会においてスマホや PC は避けられないアイテムであり、今や小学生が持っているもおかしくない時代です。であればなるべく早めに情報リテラシーを身につけ、安全に利用できるようにしていくことが必要です。

今後も、継続的に情報リテラシー講座を開催していけるよう、考えていきたいと思っています。

（中田中 PTA 副会長 南川麻衣子）

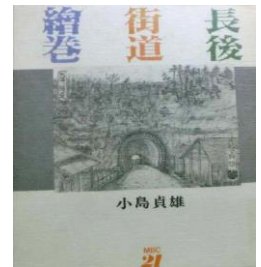
※リテラシー：読み書き能力。また、ある分野に関する知識やそれを活用する能力。

■郷土史家・小島貞雄氏の功績<6>

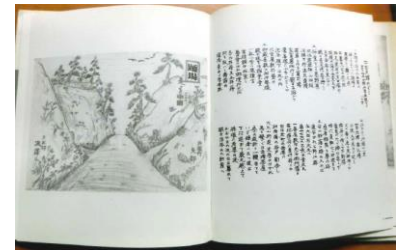
素晴らしきかな『長後街道繪巻』

宮田貞夫

何と言ったらいいか言葉では言い尽くせない感動を与える本である。
1 ページの上 4 分の 3 が長後街道のスケッチで、下が俳句と解説文が書か
れている。戸塚町（矢沢・矢部・汲沢）から始まり踊場、中田・和泉・立
場・上飯田・上倉田・下倉田まで全長およそ 6 キロメートルの風景が描か
れている。時代は昭和 5 年から 10 年ごろで、小島さんが 15, 6 歳のころの
記憶を思い出して 60 代のとき描いたと言っている。その記憶度には
感心する。



戸塚区の歴史家・内田四方蔵氏（横浜ペンクラブ会長）が『長
後街道繪巻』をこのように称賛している。「地域の歴史探求にと
って長い年月を、そこで暮らした先輩の方々が経験されたことを
自分の体験に基づいて書かれたものは貴重な資料になります。



しかも資料として生かせるように書くことはたやすいことではなく誰でもできるもの
はありません。さらに客観的に年代や固有名詞を正確に記録し幅広い視野の中で個性のあ
る価値観によって分かりやすく整理されています。小島さんがこれまでに養われた知識や
技術がスケッチの作成に大いに発揮されたたことと思います。この地域の往時の姿を明ら
かにする資料は意義深い刊行と言えます」。

小島さんはこのスケッチの留意点についてこう述べている。「長後街道沿線の家屋は中和
田地区の場合、昭和 5 年度「中和田村村会議事資料」に基づいている。

1 ページがおおよそ 320 メートルで 20 枚。鉄塔や電柱などは極力省いている。また季節的
には晩秋初冬を選び風景が見やすくなっている。解説と俳句で綴った説明文は、その土地で
最も印象付けられた季節で綴っている。

ページの途中で 4 か所、地名の解説が載っている。「長後街道の由来」「中田史蹟巡り」
「猫の踊場由来」「境川のこと」であるが、ほかに付録・長後街道略図「長後街道（断面図
と平面図）」は初めて見た地形図であった。

※平成 17 年、中田中学校が発行した創立 50 周年記念誌『なかだ』では「街道繪巻」から
踊場、立場までを見開き 3 ページにわたり近年の写真と対比させ、興味深く紹介している。
同じく泉区役所が発行した平成 9 年発行の地域情報誌『とつても泉』でも昭和 10 年代の立
場の風景を大きく扱っている。郷土史の観点からみるとその変貌ぶりが見えて貴重な資料
であることが分かる。

編集後記

新緑の若葉に誘われて、十国見渡せると歌にある峠に行ってきた。

富士山を仰ぎ見ながら伊豆、駿河、遠江、甲斐、信濃、武蔵、上総、下総、安房、相模の国。大自然の頂に立ち
しばし、いにしえの人に思いをはせた。

小島 敏子

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員；小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之